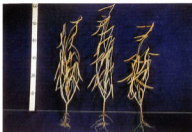


## あずき「しゅまり」の成熟期の草本



「エリモシヨウズ」「しゅまり」「きたのおとめ」

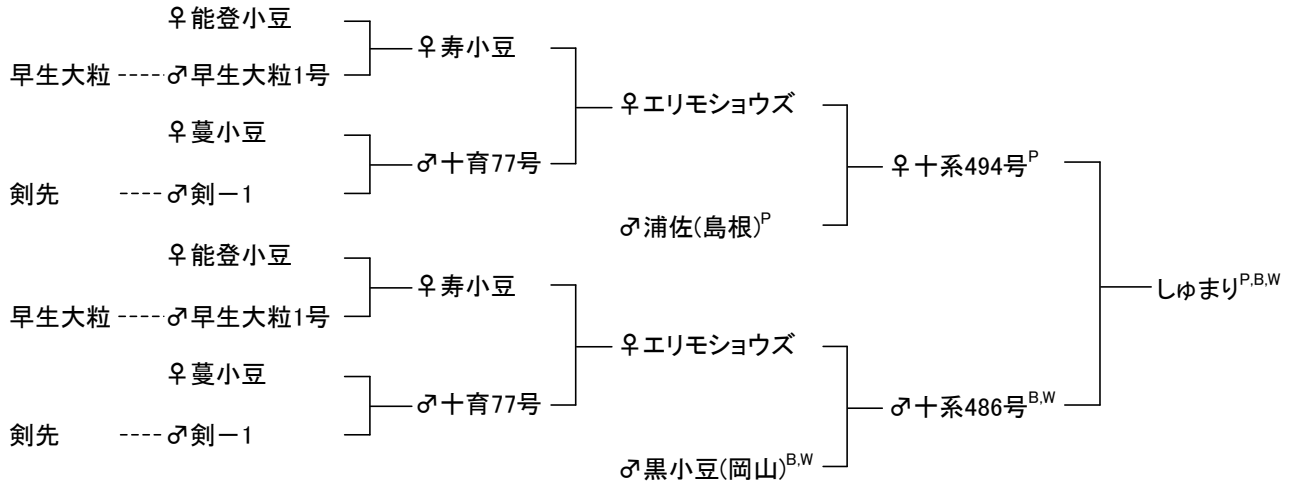
図1 「しゅまり」は「エリモシヨウズ」より生量が多いが、産別特性は異なる。

## 菜豆病多発圃における各品種の発病状況



「しゅまり」「エリモシヨウズ」「高小豆」「播佐 (高粒)」

図2 「エリモシヨウズ」は早成熟のため罹病しているが、「しゅまり」は発病が認められず強い抵抗性を示している。なお「播佐 (高粒)」は「しゅまり」の早熟病抵抗性は劣る。



注1. 浦佐(島根): 1961年島根県農試より導入した極晩生在来種。茎疫病抵抗性を有する

黒小豆(岡山): 1973年岡山県農試より導入した極晩生、種皮色が灰白斑在来種。落

2. P: アズキ茎疫病抵抗性、B: アズキ落葉病抵抗性、W: アズキ萎凋病抵抗性を有する。

表1. 生育特性

試験地	品種名	開花始 (月日)	成熟期 (月日)	倒伏程度	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	子実収量 (kg/10a)	同左比率 (%)	百粒重 (g)	品質
育成地	しゅまり	7.30	9.21	1.0	63	12.7	30.2	92	15.0	上下
	エリモショウズ	7.29	9.21	1.3	57	12.9	33.0	100	14.8	上下
	きたのおとめ	7.29	9.21	1.5	55	12.8	32.8	99	14.2	上中
上道立 川農試	しゅまり	7.25	9.5	1.0	55	11.7	32.1	98	11.4	上中
	エリモショウズ	7.24	9.5	1.4	54	12.9	32.8	100	11.6	上中
	きたのおとめ	7.25	9.5	1.6	52	12.6	34.1	104	11.0	上中
中道立 央農試	しゅまり	7.25	9.3	1.1	52	11.5	24.4	118	11.7	上中
	エリモショウズ	7.24	9.2	0.7	46	11.9	20.6	100	11.4	上下
	きたのおとめ	7.24	9.1	0.8	46	11.8	20.6	100	10.6	上中
遺傳立 資植物 源セ	しゅまり	7.23	9.6	0.8	55	12.8	23.5	100	10.6	中上
	エリモショウズ	7.24	9.5	0.9	52	13.2	23.6	100	10.8	中上
	きたのおとめ	7.23	9.5	1.0	53	13.6	23.2	98	10.2	上下

品種名	病害抵抗性			
	アズキ茎 疫病	アズキ落 葉病	アズキ萎 凋病	ウイルス病
しゅまり	かなり強	強	強	弱
エリモショウズ	弱	弱	弱	弱
きたのおとめ	—	強	強	—
寿小豆	強	—	—	—

注1. 1996～1999平均。

2. アズキ茎疫病は道立上川農試(1997, 1998)、アズキ落葉病は道立十勝農試(1996～1999)の調査、アズキ萎凋病は北海道大学(1996～1999)、ウイルス病は岩手県農試(1996, 1998, 1999)の調査結果である

3. 倒伏程度は、無:0、微:0.5、少:1、中:2、多:3、甚:4

表2. 品質特性

品種名	製あん試験(餡色)			子実の特性		
	Y	x	y	粒形	大小	種皮色
しゅまり	11.81	0.3339	0.3318	円筒	中	淡赤
エリモショウズ	11.91	0.3386	0.3350	円筒	中	淡赤
きたのおとめ	12.06	0.3400	0.3353	円筒	中の小	淡赤

注1. 加工適性試験は1998年 道立十勝農試産、6社の製餡試験の餡色を示した。Y: 明度を表し大きいほど明るい。x, yは小さいほど赤紫系を示す

2. 子実の特性は育成地の観察結果である